

変更条文新旧比較表

新 旧 比 較 表

新 条 文	旧 条 文
<p>( )</p> <p>第〇〇条 ……………</p> <p>……………<u>〇〇〇〇</u>……………</p> <p>……………<sup>①</sup></p>	<p>( )</p> <p>第〇〇条 ……………</p> <p>……………<u>××××</u>……………</p> <p>……………<sup>①</sup></p>
<p>( )</p> <p>第〇〇条 ……………。</p> <p><u>(追加)</u></p>	<p>( )</p> <p>第〇〇条 ……………。</p> <p>2 <u>……………</u></p>
<p>( )</p> <p>第〇〇条 ……………。</p> <p>2 ……………</p> <p>(1) ……………</p> <p>(2) ……………</p> <p>(3) <u>……………</u></p>	<p>( )</p> <p>第〇〇条 ……………。</p> <p>2 ……………</p> <p>(1) ……………</p> <p>(2) ……………</p> <p><u>(削除)</u></p>
<p><u>例 1</u></p> <p><u>附則</u></p> <p><u>この寄附行為は、〇年〇月〇日(大阪府認可の日)から施行する。</u></p>	<p><u>例 1</u></p> <p><u>(追加)</u></p>
<p><u>例 2</u></p> <p><u>附則</u></p> <p><u>この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 8 条別表第 1 についてはなお従前の例による。</u></p>	<p><u>例 2</u></p> <p><u>(追加)</u></p>

新旧比較表

新 条 文						旧 条 文					
別表第1(第8条)						別表第1(第8条)					
科目 区分	必修 ・ 選択 の別	授業 科目	第1 学年	第2 学年	授業 時数 合計	科目 区分	必修 ・ 選択 の別	授業 科目	第1 学年	第2 学年	授業 時数 合計
			年間 授業 時数	年間 授業 時数					年間 授業 時数	年間 授業 時数	
一般 科目	必修	基礎A	250	250	500	一般 科目	必修	基礎A	250	250	500
	選択	基礎B	150	150	300		選択	基礎B	150	150	300
		基礎C	<u>130</u>	<u>130</u>	<u>260</u>			(追加)	(追加)	(追加)	(追加)
専門 科目	必修	演習1	250	250	500	専門 科目	必修	演習1	250	250	500
		演習2	100	—	100			演習2	100	—	100
	選択	演習4	150	150	300		選択	演習4	150	150	300
		演習5	150	150	300			演習5	150	150	300
		(削除)	(削除)	(削除)	(削除)			演習6	<u>150</u>	<u>150</u>	<u>300</u>
	必修科目授業時数			600	600		1200	必修科目授業時数			600
選択科目授業時数※			<u>580</u>	<u>580</u>	<u>1160</u>	選択科目授業時数※			<u>600</u>	<u>600</u>	<u>1200</u>
卒業(修了)に必要な総 授業時数			<u>880</u>	<u>880</u>	<u>1760</u>	卒業(修了)に必要な総 授業時数			<u>900</u>	<u>900</u>	<u>1800</u>
<p>※第1学年においては、選択科目を一般科目の中から<u>130時間以上</u>、専門科目の中から150時間以上履修するものとする。</p> <p>第2学年においては、選択科目を一般科目の中から<u>130時間以上</u>、専門科目の中から150時間以上履修するものとする。</p>						<p>※第1学年においては、選択科目を一般科目の中から<u>150時間以上</u>、専門科目の中から150時間以上履修するものとする。</p> <p>第2学年においては、選択科目を一般科目の中から<u>150時間以上</u>、専門科目の中から150時間以上履修するものとする。</p>					

説 明

- ① 新旧双方の変更箇所がわかるよう下線を引くこと。